

平成27年度区・局運営方針の評価結果について

1 自己評価について

(1) 自己評価の実施内容

① 具体的取組

平成 27 年度区・局運営方針に掲げた具体的取組の実績を踏まえ、「業績目標の達成状況」及び「戦略に対する取組の有効性」について評価を行った。

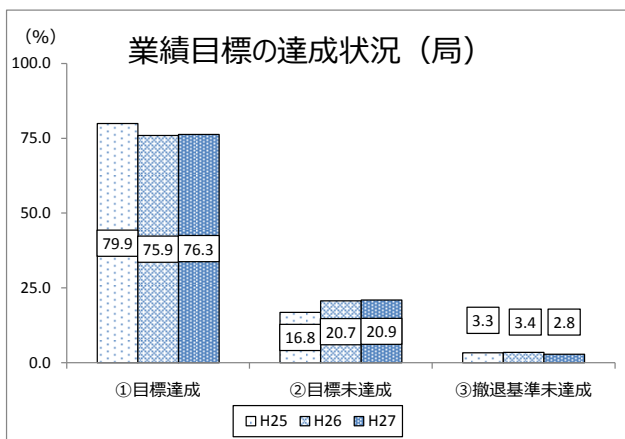
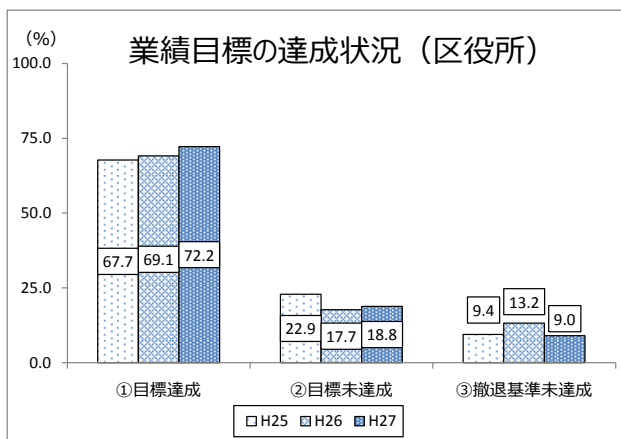
② めざす成果及び戦略

①の評価結果を踏まえ、「戦略の進捗状況」、「アウトカムの達成状況」及び「戦略のアウトカムに対する有効性」について評価を行った。

(2) 自己評価結果の概要

① 具体的取組

「業績目標の達成状況」の割合を平成 25 年度自己評価分と対比すると、区は“①目標達成”と評価する割合は上昇傾向にあり、局は“②目標未達成”と評価する割合が上昇傾向にある。また、“③撤退基準未達成”と評価する割合が例年区の方が高くなっている。



区役所（取組数）

	①目標達成	②目標未達成	③撤退基準未達成	総取組数
H25	670	226	93	989
H26	649	166	124	939
H27	499	130	62	691

局（取組数）

	①目標達成	②目標未達成	③撤退基準未達成	総取組数
H25	342	72	14	428
H26	312	85	14	411
H27	299	82	11	392

区役所（割合）

単位：%

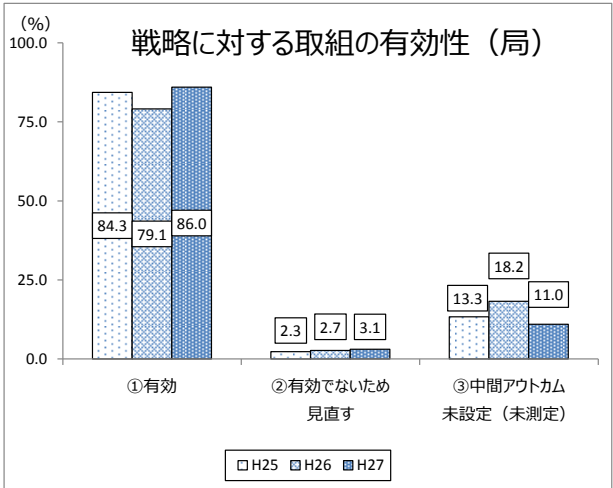
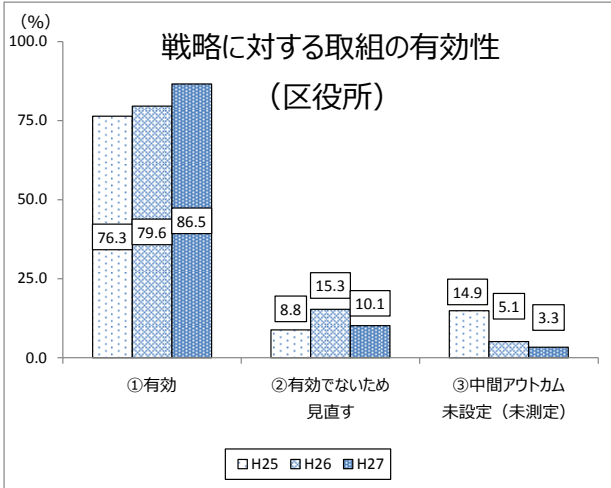
	①目標達成	②目標未達成	③撤退基準未達成	総取組数
H25	67.7	22.9	9.4	100.0
H26	69.1	17.7	13.2	100.0
H27	72.2	18.8	9.0	100.0

局（割合）

単位：%

	①目標達成	②目標未達成	③撤退基準未達成	総取組数
H25	79.9	16.8	3.3	100.0
H26	75.9	20.7	3.4	100.0
H27	76.3	20.9	2.8	100.0

「戦略に対する取組の有効性」の割合について、区は“①有効”と評価する割合が上昇傾向にあり、一方、“③中間アウトカム未設定（未測定）”は低下傾向にある。局は“②有効でないため見直す”と評価する割合がわずかに上昇傾向にある。また、“②有効でないため見直す”と評価する割合は、例年区の方が高く、“③中間アウトカム未設定（未測定）”は局が高くなっている。



区役所 (取組数)				
	①有効	②有効でないため見直す	③中間アウトカム未設定 (未測定)	総取組数
H25	755	87	147	989
H26	747	144	48	939
H27	598	70	23	691

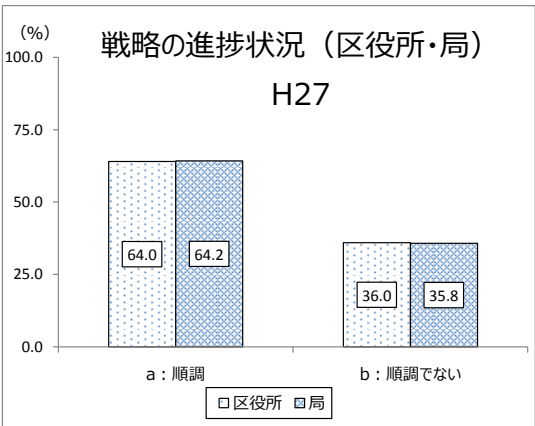
局 (取組数)				
	①有効	②有効でないため見直す	③中間アウトカム未設定 (未測定)	総取組数
H25	361	10	57	428
H26	325	11	75	411
H27	337	12	43	392

区役所 (割合) 単位: %				
	①有効	②有効でないため見直す	③中間アウトカム未設定 (未測定)	総取組数
H25	76.3	8.8	14.9	100.0
H26	79.6	15.3	5.1	100.0
H27	86.5	10.1	3.3	100.0

局 (割合) 単位: %				
	①有効	②有効でないため見直す	③中間アウトカム未設定 (未測定)	総取組数
H25	84.3	2.3	13.3	100.0
H26	79.1	2.7	18.2	100.0
H27	86.0	3.1	11.0	100.0

②めざす成果及び戦略

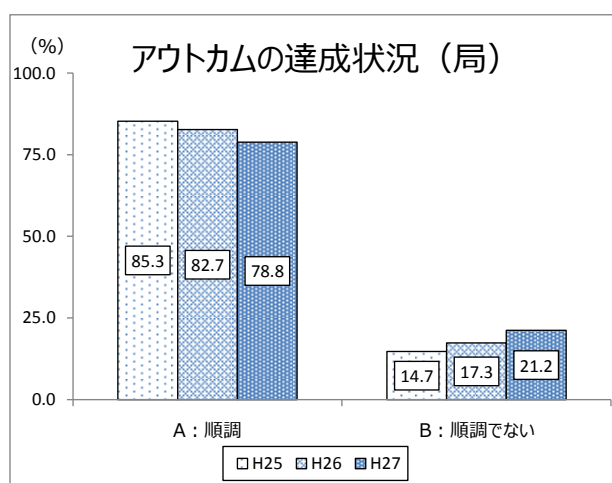
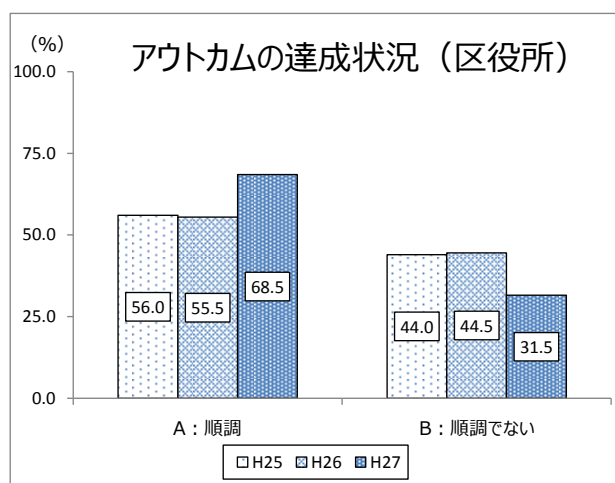
「戦略の進捗状況」の割合をみると“a:順調”と評価する割合は、区・局ともに、6割程度となっている（当該項目の区分を平成 27 年度評価分より変更したため、時系列での比較は不可）。



戦略数			
H27	a: 順調	b: 順調でない	総戦略数
区役所	201	113	314
局	97	54	151

割合 単位: %			
H27	a: 順調	b: 順調でない	総戦略数
区	64.0	36.0	100.0
局	64.2	35.8	100.0

「アウトカムの達成状況」の割合について、“A：順調”と評価する割合は、区が昨年度の 55.5%から 68.5%と大きく上昇し、局は低下傾向にある。なお、“A：順調”と評価する割合は、例年局の方が高くなっている。



区役所（戦略数）

	A：順調	B：順調でない	総戦略数
H25	191	150	341
H26	208	167	375
H27	215	99	314

局（戦略数）

	A：順調	B：順調でない	総戦略数
H25	139	24	163
H26	124	26	150
H27	119	32	151

区役所（割合）

単位：%

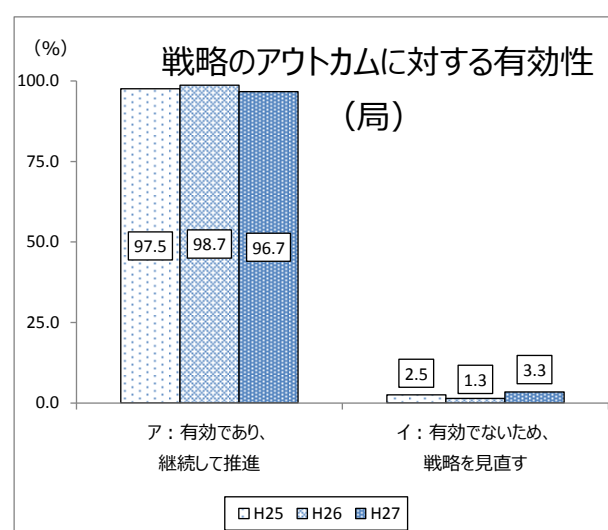
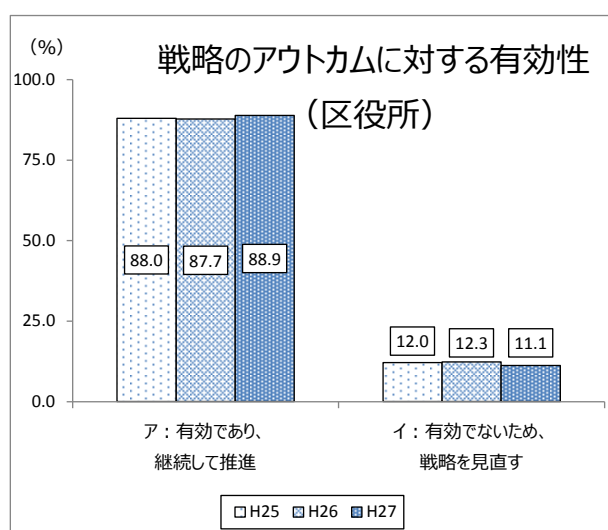
	A：順調	B：順調でない	総戦略数
H25	56.0	44.0	100.0
H26	55.5	44.5	100.0
H27	68.5	31.5	100.0

局（割合）

単位：%

	A：順調	B：順調でない	総戦略数
H25	85.3	14.7	100.0
H26	82.7	17.3	100.0
H27	78.8	21.2	100.0

「戦略のアウトカムに対する有効性」の割合について、区・局ともに大きな変化はなく、“ア：有効であり継続して推進”と評価する割合は、例年局の方が高くなっている。



区役所

	ア：有効であり、 継続して推進	イ：有効でないため、 戦略を見直す	総戦略数
H25	300	41	341
H26	329	46	375
H27	279	35	314

局

	ア：有効であり、 継続して推進	イ：有効でないため、 戦略を見直す	総戦略数
H25	159	4	163
H26	148	2	150
H27	146	5	151

区役所（割合）

単位：％

	ア：有効であり、 継続して推進	イ：有効でないため、 戦略を見直す	総戦略数
H25	88.0	12.0	100.0
H26	87.7	12.3	100.0
H27	88.9	11.1	100.0

局（割合）

単位：％

	ア：有効であり、 継続して推進	イ：有効でないため、 戦略を見直す	総戦略数
H25	97.5	2.5	100.0
H26	98.7	1.3	100.0
H27	96.7	3.3	100.0

2 内部評価について

（１）内部評価の実施内容

具体的取組における「業績目標の達成状況」及び「戦略に対する取組の有効性」について、全市的な観点から自己評価結果の妥当性の評価を行った。

（２）内部評価結果の概要

自己評価結果の妥当性について、48 所属中 45 所属で客観的な評価がなされており、概ね適正に評価されている。評価結果の妥当性に疑問が残る所属は、昨年度の 7 所属から 4 所属減り、3 所属となった。また、評価結果の妥当性に疑問が残る取組数については、昨年度の 18 から 14 減り、4 つとなった。

内部評価結果 対象所属数・取組数

	所属数	取組数
H25	6	12
H26	7	18
H27	3	4

<例：自己評価の「①：目標達成」が妥当ではない取組>

具体的取組 3－3－6		【広告料収入の確保】		25決算額	—	円	26予算額	—	円	27予算額	—	円
計 画	取組内容	業績目標（中間アウトカム）										
	広告主視点に立った媒体の開発 ・広告媒体のパッケージ化（駅ポスターの臨時集中貼り等）など、広告主が投稿しやすい媒体の編成を進める。 ・デジタルサイネージ広告の開発を進め、地下鉄駅構内広告の価値を向上せしめる。	【撤退基準】 4,659百万円（24年度決算額。過去5年で最も低い収入額）を下回った場合は、媒体開発や販売施策を再構築する。										
	有効な販売促進策の実施 ・広告市場状況（とくに夏冬の閑散期）を見定めた上で、当局の成功事例や失敗事例を検証するとともに、競合他電鉄の販売策を分析し、効果的な販売施策を実施する。	前年度までの実績 ・25年度に引き続き、広告掲出業種規制の見直しを行った（エステティックサロン）。 ・東京圏で人気の高い「駅ポスター臨時集中貼り」を心斎橋および梅田駅で展開。また、駅ポスター広告を昨今のトレンドにあわせ										

4 ページ

4 ページ

取組実績		課題	※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
自己評価	広告主視点に立つとともに、従来同場所所得ていた広告料収入よりも増収となる媒体開発を行った。 ・天王寺駅やなんば駅での駅ポスター臨時集中貼（収入：約 1,200 万円） ・梅田駅でのデジタルサイネージや大型ポスター貼（収入：約 3,000 万円） 有効な販売促進策を実施した。 ・閑散期料金割引や他電鉄との連携など 全国的な交通広告の低迷（とりわけ車内中吊広告）の影響の中ではあるが、当局においては広告料収入 4,771 百万円を確保した。	外的要因（業界全体の低迷）による影響を考慮し、事実上、目標達成したと判断したと思われる。	
	業績目標の達成状況		
	取組実績どおり目標達成した。	①	改善策 ※左記に「②、③」、「×」がある場合は必須
	①：目標達成（ⅰ）取組は予定どおり実施（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった ②：目標未達成（ⅰ）取組は予定どおり実施（ⅱ）取組を予定どおり実施しなかった ③：撤退基準未達成		
戦略に対する取組の有効性		○：有効 ×：有効でないため見直す —：中間アウトカム未設定（未測定）	